



TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL  
藤嶺学園藤沢高等学校

School  
Guide

TOHREI  
TOOH  
GAKUEN FUJISAWA



## History

### 沿革

- 大正 4 年 5 月 財団法人私立藤嶺中学校創立を認可される。(神奈川県下 7 番目、私立学校では 2 番目)
- 5 年 4 月 開校。
- 7 年 6 月 私立藤沢中学校と改称。
- 8 年 3 月 第一回卒業生を出す。
- 昭和 6 年 3 月 藤沢商業高校の併設を認可される。
- 6 年 10 月 法人名称を藤嶺学園に改称。
- 17 年 3 月 藤沢商業学校第二本科開設。
- 20 年 11 月 相模女子商業高校を本学園に移管。(現鶴沼高等学校)
- 23 年 3 月 新制高等学校設置基準により、藤沢高等学校、藤沢中学校設立を認可される。
- 27 年 8 月 バレーボール部、インターハイ優勝。
- 35 年 4 月 工業科の併設の認可を得る。
- 38 年 12 月 校舎新築始まる。
- 39 年 7 月 第一期工事竣工。(鉄筋 4 階、普通教室 16 室)
- 40 年 10 月 第二期工事竣工 (鉄筋 4 階、普通教室 10、特別教室 6、図書館管理部門各室)
- 43 年 6 月 講堂兼体育館・武道館竣工。
- 46 年 9 月 体育部、文化部各クラブ部室完成。
- 51 年 3 月 第二体育館完成。
- 52 年 12 月 合宿所完成。
- 57 年 3 月 藤嶺記念館(図書館)完成。
- 58 年 3 月 定時制(普通科・工業科)開校。
- 60 年 1 月 硬式野球場完成。
- 60 年 5 月 創立 70 周年記念式典挙行。
- 60 年 8 月 第 67 回全国高校野球選手権大会全国大会出場。
- 61 年 4 月 理数コース設置。
- 61 年 5 月 学生会館(柔道場、合宿所、理数コース教室)完成。学生食堂完成。
- 61 年 9 月 バレーコート・テニスコート完成。
- 62 年 4 月 学生服からブレザーへと制服が変わる。
- 平成 4 年 3 月 バレーボール部第 23 回全国高校選抜優勝大会出場。
- 7 年 5 月 創立 80 周年記念式典挙行。
- 8 年 4 月 藤嶺学園藤沢高等学校に改称。
- 12 年 3 月 新講堂兼体育館完成。
- 13 年 3 月 工業科廃科。
- 13 年 4 月 藤嶺学園藤沢中学校開校。
- 13 年 9 月 中高一貫コース新校舎完成。
- 19 年 3 月 中高一貫コース一期卒業生。
- 27 年 5 月 創立 100 周年を迎える。

## 「夢見る」力が未来をひらき、 「がんばる」力がきみを大きくする。

人は夢をみることにより、大きな進歩を果たしてきました。

遠い昔、海のかなたにあこがれ、他の国を探しに行った冒険者たちがいたように、

夢はやがて大きな力となって、人を動かします。やりたいことはありますか？ になりたい未来がありますか？

もしあったなら、いつまでもそれを持ち続けてください。そして、その夢を胸に毎日を送ってください。

明日はきっと今日より少し夢に近づいているはずです。

藤嶺学園藤沢高等学校は“夢見る”力を育て、夢に向かって“がんばる”力を養います。



● 大正 4 年 5 月  
財団法人私立藤嶺中学校創立を認可される



● 昭和 6 年 10 月  
法人名称を藤嶺学園に改称



● 昭和 27 年 8 月  
バレーボール部 インターハイ優勝

# 意志

TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL

## ●教育方針

教育は生徒の自己実現のためにあると考え、  
生徒の「生きる力」と人間形成を重視しています。

生徒の将来の夢や希望を実現するため、生徒一人ひとりの可能性と向き合い、育てます。



### 生徒一人ひとりの個性を尊重し、 伸ばすカリキュラムと指導を行なっています。

生徒一人ひとりの個性を活かす人間教育を重視したカリキュラムを充実させています。  
高校生としてすべきこと、高校生らしく行うこと、  
言うならばあたりまえのことができること。それが私たちの考える規律です。  
いかに満ち足りて、自由で、幸せな社会であっても、  
人間として健全に生きていくためには、我慢も辛抱も努力も必要なことです。  
これを高校時代という人間形成期に勉強と表裏一体に学ぶことは大切なことです。  
秩序やルールなどの常識を自然に守れてこそ、自立に向けた真の人間形成といえます。

### 知育・徳育・体育をバランスよく配し、 人間形成を重んじた教育を行っています。

本校の教育の目標は、知識や技術面での教育、  
人間としてのより正しく美しい生き方に関する面での教育、  
身体健康面での教育、これらの知育・徳育・体育をバランスよく追求することです。  
私たちは生徒が心と体の両面から健やかに成長することを願い、  
授業を中心とした知育はもちろんのこと、例えば徳育では坐禅修養、  
芸術鑑賞などの情操教育も積極的に取り入れ、  
体育では体育祭などを実施しています。  
バランスある教育は、人格形成にも役立ち、  
その結果として大学の進学率が高まったともいえます。



### 勇猛精進・質実剛健

#### 【勇猛精進】

勇み進んで、屈しない心を持って、苦難に打ち克ち、進んで仏道を修行することから転じて、何事にも動じない勇氣、即ち猛烈にやる気を起こし、あらゆる困難にも負けず、大きな目標や目的を達成するために、努力を怠らないこと。

#### 【質実剛健】

「質実」とは、素朴で外見の虚飾に惑わされず、まじめに物事の本質と真実を探究すること、「剛健」とは物事に動じない強い意思と健康な肉体である。すなわち、自己が一人の人間として貴い存在であることに目覚め、真に社会に貢献できる人間になることが大事であるということ。

これらは人間として生きるための平生の心構えとして一遍上人が教示されたものであり、本校の建学の精神として長く尊重されてきたものです。





## 生徒一人ひとりの個性を活かしながら、 将来の夢や希望の進路を共に考えていきます。

生徒の可能性を引き出し、伸ばしていくために  
多様なカリキュラムとサポート体制が敷かれています。

### 自宅学習の習慣をつくる 合宿授業と効果的学習システム

勉強の仕方の要領が悪くて成績が伸びない。自力でのテーマ学習、目標学習での勉強の進め方がわからない。そんな生徒のために本校独自の「勉強合宿」があります。

「教わる」「調べる」「まとめる」「覚える」「確認」という流れの中で、勉強合宿での学習内容の修得はもちろんのこと、学習への心構えや自主的な学習への取り組みを身につけることを主眼としています。つまり勉強合宿期間のみならず、家庭での学習リズムの習得や勉強法に繋がっていくところを重視しています。

夏期休暇中の勉強合宿は、校内での勉強合宿とは環境を変え、葉山の研修施設を利用して行われています。周囲から独立した集中とくつろぎの空間で、教員による講義を受けるとともに、自主学習の時間は、本校を卒業した大学生の学習サポーターが指導に加わり、受験体験から得た学習法を後輩に伝えていきます。

さらに、学年の最初と中間に生徒の学習状況リサーチを実施し、学校のみならず自宅での学習時間や学習方法を詳細に把握。その調査を通して、生徒一人ひとりに的確な助言をし、「受け身」ではない「主体的」な学習へと学習姿勢がシフトするように指導します。



### 現役合格の進路指導と 補完指導による弱点補強

全員が大学進学希望という前提にたち、受験に対応したプログラムを組んでいます。1年次からの大学オープンキャンパス参加により、大学への進学意欲を高めさせ、3年次の進路説明会では、具体的な受験対策などを大学職員の方から聞き、志望校を明確にする効果を上げています。

また学力の補強、向上を目的に「勉強合宿」のほかに「特別補講」があります。入試科目の五教科を対象に行われる特別補講は、その教科・科目をさらに分割し「基礎」や「発展」、「Sクラス（超難関大学対策演習）」とレベル分けされた講座を展開しています。学年の枠を越えて、自分のレベルに応じた講座を受講することにより、主体性・積極性・自立心の確立になり、人間的な成長も促していきます。



## ●カリキュラムと教科別指導方針

生徒一人ひとりの可能性を伸ばしながら、互いに切磋琢磨する環境をつくっています。

学習意欲を高めるカリキュラムと熱のこもった指導で生徒一人ひとりの夢の実現に応えます。



# Curriculum

## 基礎から大学進学まで

「学ぶ喜び・わかる喜び」を大切にしたカリキュラム。

1・2年次は高校での学習の基礎をつくり、進路をじっくりと考えるべき時期であり、この時期にしっかりと取り組めるかどうかが高校3年間の成果を左右します。

そこで、入学当初から着実に物事に取り組める姿勢が身につくよう、授業の密度を高める指導を心がけています。

そして3年次になると文系・理系に分かれ、受験科目の単位数を増やし、演習の時間も設け、志望する進路に合わせた学習形態を強化していきます。

本校は生徒の個性を重視しながら、その可能性を最大限に発揮できるように全力を尽くします。



### ■国語

国語総合・古典編では、各自が口語訳できる力を身につけるため、文法の理解を深めることに重点を置き、用言・助動詞の意味・活用をマスターしていきます。また、品詞分解により、重要古語に注意しながら逐次の口語訳ができるようにし、古文のリズム・特色の把握から作品理解へと発展させていきます。

### ■地歴・公民

地歴科は、1年次で世界史A・日本史Aを履修し、文系の場合2年でその科目の「B」、3年で「研究」を継続して学習することで、国公立大2次や難関私大入試に対応します。補講では、入試問題演習も行っています。公民科は、2年で倫理を、3年では政治経済を履修します。授業は大学入試センター試験を意識した内容となります。

### ■数学

3年次になると、入試で問われる微積分を中心に学習します。基本をしっかりと身につけていることはもちろんですが、教科書の内容だけでは入試に対応することは難しいので、2学期中間までには教科書を終わらせ、その後の期間を利用して、三角関数・数列・微分等頻出分野を中心とした入試問題に取り組んでいきます。

### ■理科

1年次は化学基礎・科学と人間生活の授業を通じて、基本事項の学習に取り組めます。2年次には物理・化学・生物の各科目から選択することになり、国公立大学や理系の私立上位大学を目指す生徒は、理科2科目を選択して4単位多く学習することができます。3年次の一学期で教科書の内容を全て終了し、その後は入試問題演習を重点的に行います。

### ■英語

高2前半まではコミュニケーション英語の授業で、読解を中心に総合的な英語力を養い、英語特講の授業では高校で学習すべき文法事項を集中的に学習します。高2後半より長文読解、文法・語法問題演習をはじめ、大学入試への基礎力をつけます。高3からは大学入試問題を扱い、実践的な力を身につかせます。また、英会話の授業では、センター試験に対応できるリスニング力、英語運用能力をネイティブスピーカーの指導のもとで学びます。



### ■教育課程

教科	科目	普通科			
		高校1年	高校2年	高校3年	
				文系	理系
国語	国語総合	5			
	現代文B		2	3	3
	古典B		3		
	(国語特講)			5	2
地歴歴史	世界史A	2			
	世界史B		3※1		
	日本史A	2			
	日本史B		3		
	地理B		3		
	(世界史研究)			4※1	
	(日本史研究)			4	
(地理研究)			4		
公民	倫理		2		
	政治・経済			2	2
数学	数学I	4			
	数学II		4		
	数学III				5
	数学A	2			
	数学B		2		
	(数学特講)				2
(文系数学)			2		
理科	科学と人間生活	2			
	物理基礎		4※2		
	物理				4※2
	化学基礎	2			
	化学		4		
	生物基礎		4		
	生物				4
(化学研究)				3	
体育健康	体育	3※3	2	3	3
	保健	1	1		
芸術	音楽I	2※1			
	美術I	2			
英語	コミュニケーション英語I	4			
	コミュニケーション英語II		4		
	コミュニケーション英語III			4	4
	英語表現I			3	3
	英語会話		1	1	1
	(英語特講)	2	2	2	
家庭情報	家庭基礎		1	1	1
	社会と情報	2			
総合学習の時間※4	1	1	1	1	
履修単位数合計		34	32~36	31	30~34

※1 2年と3年文系の地歴歴史は3科目から、1年の芸術は2科目から必修選択

※2 2年と3年理系の理科は、いずれも3科目から1~2科目選択

※3 柔道を含む

※4 総合学習:1年(修養など)、2年(異文化研究など)、3年(進路学習など)

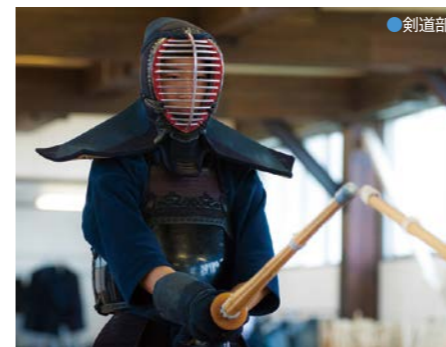
# 情熱

TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL

## ●部活動

何かに熱中し、仲間と感動を共有することで  
高校生活がより有意義なものとなります。

運動部・文化部を問わず、夢中になって全力で取り組んだ経験が  
これからの人生においての支えや自信につながっていく。



## Clubs

### ●運動部

- バレーボール部
- 硬式野球部
- 陸上競技部
- バスケットボール部
- 卓球部
- ソフトテニス部
- サッカー部
- タッチフットボール部
- 柔道部
- 山岳部
- 剣道部
- 応援指導部
- スキー部
- 軟式野球同好会



# 情熱

TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL

●部活動

## Clubs

●文化部

- 図書部
- 美術部
- 写真部
- 無線部
- 物理部
- 放送部
- ブラスバンド部
- 生物部
- 鉄道研究部
- 新聞部
- コンピュータ部
- 化学部
- 英語部
- 文芸部
- 軽音楽部
- 茶道部
- クイズ研究会

●生徒会

対面式、球技大会、体育祭、藤嶺祭、弁論大会など伝統行事を企画し、運営しています。生徒会活動は積極的で、先輩と後輩の連携をうまくとりながらすすめています。



## Year's Schedule

■年間行事

4	●法話(1年) ●校内一泊合宿(1年)	 校内一泊合宿
5	●修養(1・2年) ●開校記念講演会	
6	●校内勉強合宿(1・2年) ●藤嶺祭 ●修養(1・3年)	 藤嶺祭
7	●球技大会 ●集中講義 ●生徒会役員選挙 ●進路説明会週間	 球技大会
8	●夏期勉強合宿(1・2年) ●夏期講習	
9	●修養(1年) ●総合学習 ●慰霊祭(1年) ●防災訓練	
10	●体育祭 ●修学旅行(2年) ●修養(1年)	 体育祭
11	●英語スピーキングコンテスト ●弁論大会 ●修養(1・2年)	 修学旅行
12		
1	●入試直前ゼミ(3年) ●修養(1年)	
2	●進学講演会 ●ニューゼaland ●語学研修旅行(1年希望者) ●英語スピーチコンテスト	 語学研修旅行
3		

# 希望

TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL

## Voice of OB

●卒業生から

文武両道が藤嶺藤沢の伝統！  
充実した高校生活が希望の進路につながりました。

1・2年生を対象に、毎年夏休みの期間中に行われる夏期勉強合宿。  
チューターとして参加した先輩に、生徒たちが高校時代のお話をうかがいました。

クラスがひとつにまとまって  
お互いの良さを尊重できる学校

「とにかく楽しかったよね！」と、男子校ならではの良さを語る先輩たち。まず始めにそんな学校の雰囲気や、高校生活の印象について尋ねてみました。

東「最大の特徴は、クラスの中が分かれることなく一つになっていること。もちろん、体育会系の活発な人と比較的静かな人がいますが、そんなことには関係なく仲が良かったり、お互いが詳しいことについて教えてもらったり、普通に遊んだりしますね。」

植田「男子ばかりなので、人目を気にする必要が無いので、やりたいことやるし、言いたいことも言えるんです。いろいろな人がいるのが当たり前ですから、どんなキャラクターの人でも、いじめられることはありません。」

遠藤「授業も、全部楽しかったですね。先生が一方通行でしゃべっているのではなく先生の一言一言にちゃんと応答している感じ。」

曾根「それもきっと、なんでも堂々とと言える男子校の良さだと思います。」



お互いに認め合っているからこそ信頼関係も生まれるし、他人を批判するようなことも無いというのが、居心地のいい雰囲気の大きな理由のようですね。男子ばかりだと、クラス内に派閥ができてくいのがいいという意見もありました。また、先生との距離が近いということも、かなり印象深かったようです。

梅津「藤嶺の先生って、生徒とすごく仲がいいというか、距離が近いんです。男同士としての信頼関係なんですよ。やっぱりそれも、男子校だからかもしれないって思います。」

遠藤「藤嶺って、教員志望の人が意外に多いんですよ。たぶん、授業が楽しかったこととか、先生方との関わり方が影響しているんじゃないかな。」

いかと思います。職員室にわざわざ相談に行くというよりも、いつでも気軽に話しかけられるから何でも聞けるというのがいいんですよ。」

部活動に全力を注いだ後の  
受験に対する集中力がすごい！

高校時代といえば、やはり部活動が学校生活の中でも大きなウェイトを占める時期です。一説によると、部活動をがんばった人の合格率が高いとか。

植田「部活に本気で取り組んでいた人のほうが第一志望に受かりやすいっていうのは、藤嶺藤沢の特徴かもしれません。部活をやっていないと、入学してから受験までの生活がずっと同じだから、途中でだらけてしまうこともあるみたいなんです。それに対して、部活を引退したところからの受験勉強スタートというのが、区切れがあってやる気になりやすいんです。短期集中でやらなくちゃ！みたいな気分になれるというのは、確かにあると思います。」

遠藤「野球部の部活動は、正直言って結構きついです。でも、そのおかげで根性はつきますよ。それが勉強に反映されるのか、高3の夏に引退した後の勉強の集中力は、誰にも負けなかったと思います。」

東「文武両道をめざしている学校っていうことを、みんながわかって実践しているっていうことなのかな？それは運動部でも文化部でも同じだと思います。」

曾根「たぶん、先生方もそれを狙って、部活動をしたほうがいって勧められるんじゃないかな？部活ががんばると大学に受かるぞって。実際に、ほんとうでしたからね。」

遠藤「朝から晩まで本気で部活やっていた人が本気出して勉強すると、集中力とか精神力とか、やっぱりすごいんだってことですよ。」

梅津「部活動をやっていなかった人の中にはやっておけばよかったって後悔をしている人、すごく多いですよ。やっぱり高校生活は目一杯楽しんで充実していたほうが、自分にとっていい結果になるんじゃないでしょうか。」

自分がやりたいことが見つかったら  
勉強が好きになるのかもしれない

最後に、それぞれの将来の夢と、藤嶺での3年間が、今の自分にどのようにつながっているのかを聞いてみました。

東「藤嶺はとてとても面倒見のいい先生が多く、さまざまな面で非常にお世話になったことから、『教える』ことに興味を持ちました。今、個別指導の塾で講師のアルバイトをしています。でも、将来の夢は弁護士なんです。その

ために法学部に進んで勉強しているのですが、それとは別にどうしても『教える』ということをしてみたかったのは、やはり藤嶺の先生方との出会いがあったからこそだと思います。」

遠藤「3年間、部活優先のような生活をしていましたが、先生のおかげで引退後にやる気のスイッチが入り、教員養成の大学に入ることができました。卒業後は、中学か高校で英語を教えたいと思っています。高3の時の担任の先生には本当にお世話になって、卒業してから一緒に旅行に行くほど仲がいい、兄貴みたいな存在なんです。」

曾根「まだ、どの学部に行くかも決まらずにいた時に、先生と色々な話をしたんです。結局、アドバイスをいただいて進む道を決めることができました。商学部なので、将来は起業することや、経営者をめざしています。中学時代は、あまり勉強が得意ではありませんでしたが、高校に入って少しずつ勉強をがんばりはじめ、最終的には担任の先生との面談で奮起しました。」

梅津「今、機械工学科でエンジニアを目指しています。高校では漠然と『理系』としか思っていなかったのですが、先生からのアドバイスで大学のオープンキャンパスに参加して、目指すものが見つかりました。将来は、自動車の設計とかに携わりたいかなって思っています。」

植田「ぼくは工業デザイナーになりたいと思っています。デザイナーというと、絵を描いたりする美術系のイメージかと思われそうですが、デザイン的なことに加えて工学的なことも理解した上で、プロダクトデザインをやりたいんです。小さい頃からモノづくりが好きだったので、先生のアドバイスで幅広い知識が学べる大学を選びました。今、将来の夢に近づいていることを実感しています。」

そして、全員一致の結論はこれでした。

一同「勉強は特に好きではなかったけれど、今はやりたいことがあるから好きになりました。藤嶺では勉強する習慣もつくし、とにかく何でも先生に相談できたことが、今の自分につながっています。」



※所属・学年は取材当時のものです



やる気を引き出す進路行事

一人ひとりの未来と一緒に考えるきめ細かい進路指導に加え、豊富な進路行事を実施しています。先輩たちの合格体験談を聞くことができる進学講演会や進路説明会など、授業や補習・勉強合宿といった学習イベントと並行して行われる進路行事が「やる気」を高め、学習活動に主体的に取り組める生徒に育てていきます。

### ●最近3年間の主な大学合格状況

■ 国立大学				
大学名	合格者数			合計
	13年	14年	15年	
一橋大学	2			2
北海道大学			1	1
東北大学			1	1
九州大学	2		2	4
国際教養大学	1	1		2
筑波大学		1	1	2
横浜国立大学	3	2	1	6
千葉大学		1	2	3
首都大学東京	3	2	2	7
横浜市立大学	2	2	1	5
■ 私立大学				
大学名	合格者数			合計
	13年	14年	15年	
早稲田大学	15	12	8	35
慶応義塾大学	8	5	2	15
上智大学	4	13	6	23
東京理科大学	14	6	9	29
明治大学	21	14	23	58
青山学院大学	15	7	10	32
立教大学	13	9	12	34
中央大学	24	18	25	67
法政大学	23	25	23	71
学習院大学	5	8	2	15
成蹊大学	4	5	8	17
成城大学	6	8	7	21
明治学院大学	24	26	17	67
日本大学	35	44	53	132
東洋大学	20	13	5	38
駒澤大学	10	7	9	26
専修大学	22	29	9	60
國學院大学	11	13	12	36
芝浦工業大学	11	34	22	67
東京都立大学	22	18	20	60
東海大学	37	31	50	118
神奈川大学	38	33	36	107
北里大学	5	6	12	23
東京農業大学	12	11	16	39
I C U			1	1
卒業生数	167	234	222	204



## TOHREI GAKUEN FUJISAWA HIGH SCHOOL



### 藤嶺学園藤沢高等学校

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-7-1  
Phone:0466-23-3150

<http://www.tohrei-fujisawa.jp>